

不破郡四十五村 多藝郡六十ー村 石津郡九十一村 安八郡百五十二村 池田郡六十七
 村 大野郡百十九村 本巣郡七十一村 席田郡九村 方縣郡五十村 厚見郡五十八村
 山縣郡五十五村 武儀郡百四十五村 郡上郡百六十四村 加茂郡百二十一村 惠那郡八
 十村 土岐郡五十六村 可兒郡九十五村 各務郡三十七村 羽栗郡六十五村 中島郡三
 十三村 海西郡二十八村

〔地勢提要〕坤郡邑島嶼奇名

美濃 惠那郡、千旦林村、土岐郡、大湫宿、可兒郡、顏戸村、厚見郡、鏡島村、方縣郡、河渡宿、尻毛村、蘆敷村、
 本巣郡、生津村、木知原村、安八郡、樂田村、豊喰新田、海松村、武儀郡、吉田村、上有知村、郡上郡、木尾村、貢
 間村、羽栗郡、田代村、不破郡、畫飯村、藤下村、

〔類聚名物考地理三〕野上里。のがみのさと 美濃國 不破郡

野上はいづかたにてもいへば、名所にあらねども、後世は美濃の不破郡の野上の里をのみ歌によみならはせり、たゞ野上は野のうへのかたをさしていふ。

〔日本書紀天武二十八〕元年六月丁亥、高市皇子遣使於桑名郡家、以奏言、遠居御所行政不便、宜御近處、即日天皇留皇后而入不破、比及郡家、尾張國司守小子部連鉏鈎率二万衆歸之、天皇即美之、分其軍塞處處道也、到于野上、高市皇子自和毬參迎、以便奏言略中、皇子則還和毬、天皇於茲行宮興野上而居焉。

〔更科日記〕美濃の國なるさかひにすのまたといふわたりして、野がみといふ所につきぬ、そこにはあそびともいで來て、夜ひとよ、歌うたふに、あしがら成し思ひ出られて、哀に戀しき事かぎりなし、雪降あれまどふに、もの、興もなくて、不破の關、あつみの山などこえて、近江の國おきながといふ人の家にやどりて、四五日あり、